

ソニーグループ株式会社

教育プログラム「CurioStep with Sony (キュリオステップ)」

ソニーは、クリエイティビティとテクノロジーを体験する機会の提供を通して、あらゆる子どもたちの好奇心を高め、創造性や問題解決力、多様性を受け入れる力の向上をサポートする教育プログラム「CurioStep with Sony」を展開しています。

ソニーグループの製品やコンテンツ、技術などを活用し、プログラミング、エンタテインメント、アートなど「STEAM」教育※に関するワークショップを実施しています。

※STEAMは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の略。



大成温調株式会社

幅広い社会貢献活動の推進

当社は地元を中心に様々な社会貢献活動を行っています。

品川区が行う子どもの食の支援事業に賛同し、3年度連続でお米を寄贈。中学生の職場訪問の受け入れや、ゴミ拾いをスポーツとして競う「スポ GOMI in 大井」への参加等を行っています。またプロチーム「しながわシティスポーツクラブ」による地域スポーツ振興の取組みに共感しサポート活動を実施するほか、「ビーチバレー大成温調カップ」を開催するなど幅広く活動しております。



大成祭典株式会社

環境保全活動の推進・地域イベント等への協力、協賛

大成祭典では、環境保全活動に関する支援及び地域イベント等への協力、協賛をさせていただいております。

- ・環境保全活動については、①アイドリングストップの推進 ②エコ棺推進：温暖化ガス排出削減、森林資源を守る ③スーパーアイス：地球温暖化防止対策となる再利用可能な保冷剤 ④海洋葬：水に溶ける紙の使用による海洋汚染防止 ⑤ペーパーレス：文書の電子化、プロジェクターの活用
- ・地域イベントについては、「しながわジャズフェスティバル」をはじめ品川区内神社の例大祭、防災訓練などの協賛及び設営協力をさせていただいております。



株式会社第一興商

Singing 歌いながらいこう

当社は、DK エルダーシステムによる健康増進 / 介護予防プログラム体験を行っております。「音楽を使う」「体を使う」「目で観る」といった基本コンセプトからつくられる豊富なコンテンツが、楽しみながら持続できる音楽健康セッションと称する健康プログラムの実践を可能にします。高齢者のみなさんが仲間と共に歌うことで元気な心を取り戻し、音楽やリズムに合わせることで楽に体を動かせるようになり、懐かしい映像を観ることで認知症の予防・軽減につながります。今後も地域コミュニティの活性化と介護予防や健康維持、生きがいづくりにつなげていきます。



第一三共株式会社 品川研究開発センター

環境保全に取り組み、地域社会との共存共栄を目指す

第一三共グループは太陽光発電などの再生可能エネルギーを積極的に導入しています。また、世界各地で行っている森林保護活動を通じて、地球温暖化対策を推進しています。

その中、品川研究開発センターにおいては、社員一人ひとりが事務用品の再利用やコピー用紙の削減に取り組んでいます。また、近隣の清掃活動を実施し、自治体のお祭りや防災訓練に参加することにより、地域社会とのコミュニケーションを深めて、共存共栄を目指しております。



第一生命保険株式会社 品川支社

学生向け消費者教育・金融保険教育の推進

第一生命品川支社では、豊かな次世代社会の創造に向け消費者教育・金融保険教育の支援に取り組んでおり、中学校・高等学校での出張授業を実施しております。すごろく形式のゲーム教材「ライフサイクルゲームⅢ」を使い、ライフイベントや病気・ケガのリスク、消費者被害等を疑似体験していただいております。成年年齢の引き下げや人生100年時代の到来など社会情勢の変化を受け消費者教育・金融保険教育の必要性は高まってきている中、教材の提供や出張授業を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。



大東コーポレートサービス株式会社

障がい者就労支援／職場見学・体験実習・職業訓練

当社は、大東建託株式会社の特例子会社として障がいのある方の活躍を支援するために、各地の特別支援学校、就労移行支援事業所などの支援機関に対して、会社説明会・見学会の実施、体験実習などの受け入れを行っております。そうした活動でいただいた貴重なご意見を、障がい特性に配慮した雇用管理や雇用形態の見直し等に活かし、多様な人材が活躍することができる職場環境づくりを目指しております。



ダウ・ケミカル日本株式会社／ダウ・東レ株式会社

循環型経済の構築

ダウグループは、気候変動とプラスチックごみ問題に関する持続可能性目標を掲げ、ごみの環境流出防止、循環型経済への移行そして外部とのパートナーシップに取り組んでいます。海ごみの清掃で回収したプラごみから作られたごみ袋の寄付の他、品川区子ども食堂への寄付、出前環境授業、オンライン授業など、従業員が参加できる取り組みを継続しています。



タニコー株式会社

こども食堂・地域貢献

当社が大崎で運営するターニーバーカリーカフェで、定期的にこども食堂（クラブターニー）を開催しています。また、品川区商店街連合会主催の「大商業まつり」に地域の商店街を盛り上げるため出店しました。その他にも品川区内の中学校から職場体験の受け入れを行っております。今後も地域に貢献できるよう取り組んでいきます。



中外製薬株式会社 関東南統括支店

よき企業市民として社会貢献活動を進めます

中外製薬では、『福祉分野への取り組み』として、障がい者スポーツ支援、在宅福祉移送サービスカーの継続的な寄贈等、『次世代人材育成』として、生物実験教室の開催、防災教育の支援等、『被災地支援活動』として、社員ボランティア派遣、チャリティーイベントによる募金の寄付、被災地支援商品販売会等を行っています。

大崎オフィス（関東南統括支店）でも事業所周辺の清掃作業や業務を通じて疾患啓発活動、適切な受診勧奨活動を行い、健康長寿社会を目指した取り組みを行っております。



都築クロスサポート株式会社

地域イベント参加とご支援

弊社はツヅキグループパーパス「人と知と技術で、可能性に満ちた“余白”を、ともに。」に基づき、地域交流に注力し、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。町内会への協賛、春、秋祭りの参加、地域の安全活動（交通安全週間）等を行っています。これからも地域の皆様へ感謝の気持ちとともに地域貢献してまいります。



株式会社テーオーシー

地域社会交流・教育イベントの開催等

「社会に役立つ企業」の企業理念のもと、地域に密着した CSR 活動を継続しており、その一つとして区内中学校への訪問(しながわ職場歩き)を行っております。当社の事業を理解してもらった後、生徒たちとの対話を通じ、「社会人とは何か」「企業の在り方とは」について共に考えました。意見交換を行い、ライフプランを構築する「キャリア教育」の材料として提供させて頂きました。他にも本社ビル開館記念イベントの開催、神社例大祭の子供神輿サポート等、地元の方々との交流・ふれあいの場の提供に努めております。



株式会社テクノマックス

テレビ局の仕事について学ぶ「校外学習」、 環境保全活動、エコキャップ活動

テクノマックスは、テレビ東京グループの CSR 活動に参加、郊外学習活動への技術サポート、社内資料のペーパーレス化、カラー印刷削減などで業務上の環境保全への取り組みを行い、ペットボトルキャップを集めてエコキャップ活動に取り組んでいます。



寺田倉庫株式会社

品川・天王洲を水辺と芸術が息づく魅力あるエリアに

創業の地である天王洲エリアの運河に囲まれた特性をより価値あるものとするため、近隣企業や地域団体と連携し、水辺の賑わいを創出し、多くの人々が訪れて憩い楽しめるような空間を演出する活動に取り組んでいます。近年では、芸術や文化との接点づくりのために、アートイベントやアート作品と身近に接することのできる発信拠点を設けるなど、更なる当該エリアの魅力づくりのために取り組んでいます。



東京サラヤ株式会社

衛生手洗い活動と花植景観維持活動

世界の衛生・環境・健康に貢献するを理念に、感染症から身を守る衛生手洗い教育を近隣小学校等に訪問して行っております。会社周辺が緑と花が少ないことから会社花壇の季節ごとの花植え替えと会社有志を募って品川区が推進するみどりや花のボランティアにも参加しております。また、地域の協議会と協力してまちづくりにも協力しております。



東京都競馬株式会社

馬とのふれあい事業の実施

大井競馬場に、近隣の小学校や特別支援学校、ろう学校等の児童や生徒の皆様を招待し、「馬とのふれあい事業」を行っています。

ポニー乗馬やミニチュアホースとのふれあい体験を通じて馬の魅力を肌で感じてもらうとともに、ホースセラピーによる癒しの効果や動物を愛しむ心の醸成を期待しております。



東京マリオットホテル (森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社)

地域イベントへの参加とご支援

東京マリオットホテルは、2013年12月3日に品川地区初の外資系ホテルとしてリブランドオープンいたしました。開業前に地域の方々に愛していただいたホテルラフォーレ東京の精神を受け継ぎ、地域イベントへの参加とご支援を継続して行っております。

これからもしながわ宿場まつりへの出店や品川神社例大祭の神輿の休憩所の設置などの活動により、地域の皆様への感謝の気持ちと共に地域貢献に努めてまいります。



東芝エレベータ株式会社 東京支社

地域清掃活動

当社は安全で快適な、環境にやさしい移動空間を創造し、社会の発展に積極的に貢献する信頼される「地球内企業」をめざしています。当事業所においては、社会貢献活動の一環として献血、使用済み切手およびペットボトルキャップの収集、フードドライブ、文房具やカレンダー等の寄贈のほか、入居しているオフィスビル周辺の清掃活動を実施しています。



東芝テック株式会社

カレンダー・手帳・保存食品の寄贈

東芝テックグループは、経営理念「ともにつくる、つぎをつくる。～いつでもどこでもお客様とともに～」に基づき、事業を活かした活動および継続的な地域との交流に注力し、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。品川区内においては、学校や保育施設、児童福祉施設への遊具や絵本等の寄贈、読み聞かせ、カレンダーや使用済み切手の寄付、フードドライブ、清掃美化活動や花植活動等を行っています。今後も地域の皆様に貢献できるように活動を継続してまいります。



東洋製罐グループホールディングス株式会社

容器文化ミュージアム夏休みイベント

東洋製罐グループは、地域社会との共生を目指して、地域との交流を大切にしています。本社ビルには、容器包装が生み出した文化を伝え、容器に親しみを感じて頂く施設「容器文化ミュージアム」を設置しています。2023年夏、4年ぶりに夏休みイベントを開催し、容器を使った遊び・工作体験、海洋プラスチックに関する環境教室等を行いました。多くの子供たちに楽しく学んで頂いたと共に、地域の皆さまとの交流機会となりました。



株式会社トリドールホールディングス

「食」を通じた支援

私たちは人々の生活に欠かせない“食”を提供する企業として、“食”を通じた社会貢献活動を実施しています。「しながわ子ども食堂ネットワーク」に所属し、子ども食堂を支援しています。コロナウイルスの影響を受け、子ども食堂の開催が困難な状況になってしまったところに、食品の無償提供を開始し、その食品の総計は5,000点以上に達します。現在も継続的に子ども食堂への支援を行っています。



株式会社ニコン

製作所周辺の清掃活動

当大井製作所周辺の、道路上や植え込みの中のゴミを集めることを中心とした、清掃活動に取り組んでおります。地域の美化による社会貢献を推進し、少しでも皆様のお役に立てればと考えます。また、本来の事業内容を通じた社会貢献を行うことも続けて参ります。



日学株式会社

日学・黒板アート甲子園®

黒板・ホワイトボードメーカーの日学株式会社が主催する、全国の中・高生の皆さんを対象とした黒板アートのコンテストです。日学・黒板アート甲子園®は、生徒たちが学校生活で感じる様々な思いを描いた作品を募集し、創造性、芸術性に溢れる作品を社会に広め、彼らの活躍できるフィールドを拡大することを目指しています。今後も、日学・黒板アート甲子園®を通じ、若者たちが活躍できる場の拡大、教育・文化の発展に努めてまいります。



日学・黒板アート甲子園®2023
メイン大会 最優秀賞
好文学園女子高等学校（大阪府）
「今、この瞬間を。」

日産東京販売ホールディングス株式会社・日産東京販売株式会社

発災時の非常用電源の供給、帰宅困難者の受入

当社グループは、電気自動車に搭載されたバッテリーから電力を取り出し、非常用電源として活用できる可搬型給電器「パワームーバー」を都内 82 店舗に配備。昨年、品川区と「電気自動車を活用した災害連携協定」を締結。区内で災害等による停電が発生した際、区内店舗から電気自動車および可搬型給電器を無償貸与し、避難所等への電力供給を行います。また、「災害時における一時滞在施設・備蓄品貯蔵施設提供に関する協定」も締結しており、発災時には新車のひろば目黒店（西五反田4丁目）で帰宅困難者の受入（最大350名収容可能）も行います。



日鉄エンジニアリング株式会社

お花いっぱい大崎

当社は、当社グループ会社とともに大崎駅周辺まち運営委員会・しながわ夢さん橋実行委員会主催の「お花いっぱい大崎」に参加しています。品川区より大崎周辺の花壇を借り受け、地元の中学生や近隣住民の方、近隣企業ボランティアの方々と一緒に、年に2回花植えを行います。当社の担当は目黒川沿いとなっており、日々水遣り、草取りなど花壇の手入れを行い、街の景観保護に貢献しています。



株式会社日本アクセス

小学校での「食育授業」を通じて食の大切さを伝えています。

食に携わる企業として地域貢献、次世代育成、食文化の継承を活動の目的とし、区内の小学校で「食育授業」を実施。乾物をテーマに食材の特徴・良さ、栄養素、調理法などを学ぶことで子どもたちに日本の伝統的食材の知識を継承し、食の大切さ、楽しさを伝えています。たくさんの子どもたちに授業を通して豊かな経験をしてもらいたいと考えています。また、子ども食堂ネットワークを通じて食品提供の支援も継続して行っています。



★
幹事企業

日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社

品川区立中学校の職場体験に協力

品川区立 豊葉の杜学園 8年生の職場体験を受入れました。ショールームにおいて建築から自動車、船舶などの幅広い分野で使用される塗料について説明。その後、色の三原色（赤、青、黄）の塗料を混ぜて標準色に合わせる調色作業や、自分で調色した塗料を使っての塗装体験を行って頂きました。これらの体験を通じて、生徒の皆さんは塗料の多様性とその応用技術（調色、塗装）を学んで頂きました。



日本航空株式会社

JAL 空育®による子どもたちとのふれあい

当社では、次世代育成プログラムとして空育®を開催しています。オンラインや、実際に品川区の保育園や小学校へお伺いし、空の仕事の内容や楽しさをお話することで、子どもたちが未来を考えるきっかけづくりを行っています。また、親子や友達と遊ぶことの楽しさを実感していただくワークショップとして、JAL 折り紙ヒコーキ教室も開催しています。



日本生命保険相互会社 東京ベイエリア支社

「最も身近な生命保険会社でありたい」という 思い込めた社会貢献活動

毎年がんの早期発見に向けた、がん検診の受診の推奨等の営業職員の啓蒙活動を実施しております。また、10-11月には乳がん検診の推奨月間と位置づけ、全職員ピンクリボンを装着し、お客様のもとに足を運んでおります。上記に加えて、スポーツを通じた青少年の育成、健康づくりの観点から、桐生選手のかげっこ教室や野球教室を行うなど、地域に根差した取り組みを行っております。



989-23-209

日本たばこ産業株式会社 東京支社

地域の清掃活動を通じて環境美化に努めています

JT では地域の皆様やたばこ屋さんと一緒に定期的に駅頭などにおいて清掃活動を行っております。私たちは、清掃活動を通じて捨てないことの大切さやマナーを広めたいと考えております。また、私たちは自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会や協働団体など、様々な人々とゴミを拾う活動も実施しております。清掃活動以外にもボランティア森林植樹活動やNPO助成事業(SDGs貢献プロジェクト)等、様々な活動へ取り組んでいます。



ニューオータニイン東京 (HRTニューオータニ株式会社)

しながわ寺子屋

ニューオータニイン東京では、2011年から区内の中学校を対象とした「しながわ寺子屋」に協力しています。クイズ形式でホテルの概要等を説明したりすることで、仕事を通じての社会貢献や学びについてお話しています。生徒たちの身近であるサービス業の現場の話を通して、今後の進路や職業観に繋げていけるように今後も活動に取り組んで参ります。また「しながわ職場歩き」の受け入れも行っております。



ネットワンシステムズ株式会社

心豊かな地域社会実現のための活動展開

当社が掲げるパーパス「人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る」のもと、事業を活かした取り組みや、地域や近隣団体と密着した社会貢献活動を展開しております。

2023年に勝島にオープンしたイノベーションセンター（netone valley）では地域イベントを開催、浜川小学校4年生全児童を招待し、ICT体験やウォールアートを実施し交流を深めました。また、社内イベントにおいて、区内の社会福祉施設で製作された商品の販売会を実施しました。今後も心豊かな地域社会実現のため、地域と連携した活動を継続してまいります。



野村不動産ソリューションズ株式会社

高齢者等地域見守りネットワーク事業

野村の仲介+「五反田センター」と「大井町センター」と「旗の台センター」は、「高齢者等地域見守りネットワーク事業」に参画しています。

当社のお客様にはご高齢の方も多くいらっしゃいますので、お客様訪問の際に「新聞や郵便物がたまっている」「TVの音がするのに応答がない」などの異変を察知した際は、すぐに区に通報し適切な対応につなげます。

日々の業務を通じて見守り活動を積極的に行い、品川区の目指す「いつまでも安心して暮らし続けられる社会」の実現に寄与し、また、地域の皆様への社会貢献活動の場にも積極的に参加してまいります。



株式会社バルカー

地域社会の一員として、美しい街づくりに貢献します

バルカーグループでは、長年にわたるスポーツ振興支援のほか、良き企業市民でありたいとの思いから「地域社会に対する感謝の日」を定め、近隣の清掃活動や福祉施設への支援活動など、国内外の事業所が地域に根ざした様々な社会貢献活動を行っています。大崎事業所では、大崎エリアマネジメント様が進める「お花いっぱい大崎」に継続して参加しています。

2023年度も社員と家族で楽しく参加することができました。



B-Rサーティワン アイスクリーム株式会社

働くママや子供たちへの支援、 そして、その先にある地球の未来へ繋げて行きます

当社モットーである“*We make people happy.*”の実践を目指し、人に優しく、地球に優しい、ホスピタリティに満ちた社会を目指し貢献してゆきます。昨年は当社関連団体である一般社団法人 miraie を通じ、子ども食堂（食品提供・サポート等）・フードドライブ他に取り組みさせて頂きました。これらの経験をもとに更なる活動の展開を目指してゆきます。



東日本旅客鉄道株式会社 電気システムインテグレーションオフィス

地域の美化活動や出前授業等を実施

オフィスが品川区に移転したことをきっかけに、地域のお役に立てるよう「しながわ CSR 推進協議会」へ 2023 年 12 月に入会しました。当オフィスでは、「駅構内や周辺の清掃」「中学校への出前授業」「ポッチャ講習会・社内ポッチャ大会実施」などの取り組みを実施しています。今後も様々な活動を実施するとともに、しながわ CSR 推進協議会を通じてさらに地域のお役に立てるよう活動していきたいと考えています。



株式会社日立システムズ

STEAM 教育プログラム「未来をもっと輝かそう」

小学生向けに、科学のおもしろさを伝える「プログラミング授業」、中高生向けに、働く喜びや意義を伝える「企業訪問受け入れ」、AI の基礎知識を学び改善方法を考える「AI 授業」、数学の知識を使いデータ分析・技術活用を体験する「データサイエンス授業」。これらを体系化し、STEAM 教育プログラムとして提供することで、次世代の IT 人材育成をめざしています。日立システムズは、未来の大人たちと真剣に向き合う活動を展開しています。



株式会社日立社会情報サービス

ICT 関連の教育プログラムおよび講座への講師派遣

当社は ICT の知識を生かし、日立財団が理工系人材の育成をめざして実施している探求的な学習プログラム「日立みらいイノベータープログラム」、およびマルチメディア振興センターが子どもたちをネット詐欺などのトラブルから守るために実施している「e-ネットキャラバン」に社員ボランティアを講師として派遣しています。



株式会社日立ソリューションズ

しながわドリームジョブへの協力

城南小学校、台場小学校で開催された品川区のキャリア教育「しながわドリームジョブ」に協力しました。当社でホワイトハッカーとして活躍する社員が教室やオンライン会議で参加し、仕事の魅力や大切にしていることについて話しました。参加した児童からも、積極的に質問をしていただき、活発な授業風景となりました。



株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

未来の ICT 人材・次世代人材育成の支援

高校生に ICT スキルを楽しみながら身に付けてもらうことを目的とした競技イベント「シンギュラリティバトルクエスト」(同実行委員会主催、年 1 回開催)において、当社の強みを生かして競技の企画・開発、イベント運営支援を行っています。2023 年度は冠スポンサーとなり、次代を担う人材の発掘・育成により貢献していきます。

また、2017 年から連続出場している日本最大級のセキュリティ CTF 大会 (SECCON CTF) では 2022 年度からゴールドスポンサーとなり、日本国内情報セキュリティ人材育成とセキュリティ技術の底上げに貢献しています。



株式会社ビッツ

地域への奉仕や支援を通じて、社会全体に寄与する活動や取り組みを実施

- ・ Bリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」をSDGsパートナーとして支援
 - ・ ハンディキャップがある若者を支援する特定非営利法人たいらかをサポート会員として支援
 - ・ ベルマーク収集、古本回収を通じて公益財団法人オイスカ、公益財団法人日本ユニセフ協会を支援
 - ・ 株式会社パンアキモトの飢餓対策支援活動に参画
 - ・ 本社ビル周りの清掃活動を実施
- これからも地域社会の一員として社会の発展に貢献して参ります。



ピツニーボウズジャパン株式会社

本業を通じた社会貢献活動

当社の主力製品である「郵便料金計器」を NPO 団体に無償レンタル提供し、団体職員の方々の負担軽減、業務効率化に貢献し、運営をサポートしています。また、日本郵趣協会主催「ゆうびん de 自由研究・作品コンテスト」に協賛の上、表彰式イベント内で「お手紙ワークショップ」を実施し、「郵便料金計器」の体験とともに子どもに手書きの手紙の良さを伝える活動等、郵便に関わるビジネスを展開する当社の本業を生かした貢献活動に力を入れています。



株式会社フォーカスシステムズ

未来のより良い環境作りに貢献

当社は、企業の社会的責任（CSR）を果たす一環として、主に以下の取り組みに代表される活動を通して、広く地域社会にも貢献できる企業を目指しております。

- ①女性活躍の推進（次世代認定マーク『くるみん』や『えるぼし』等の取得）
- ②農業を通じた障害者の雇用創出・活躍支援とその広報
- ③省エネ、省資源、廃棄物削減等各種環境に配慮した取り組み



富士電機株式会社

品川学園ドリームジョブ

品川学園 7 年生向けにキャリア教育イベント「ドリームジョブ」を開催。当日は生徒 135 名へ向け、社会における会社（弊社）の役割や、職種における業務の違いなどをご紹介。また、若手社員 5 名が参加し、それぞれの「仕事の内容」や「やりがい」をお伝えするとともに、学生時代を有意義に過ごすことの「価値」を社会人から中学生へのメッセージとしてお届けしました。



株式会社ブロードリーフ

企業参画型の地球環境保全活動「GrowLeaf」の運営

SDGs の一つ「陸の豊かさを守ろう」に関連する取り組みとして、2008 年より認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所が運営する森林再生プロジェクト「PresentTree」を通じて、会員企業様とともに植樹活動を継続的に実施しています。また、福祉施設で育てた広葉樹の苗木を育てることで緑化や里山の重要性を学ぶ「里山づくりオンラインワークショップ」を定期開催しています。



株式会社文化堂

社会福祉法人等への寄付

2010年より、10年間、毎年、品川区総合福祉センター様・社会福祉法人六踏園様に定期的にお菓子や食料品を贈呈させて頂いております。弊社の担当者が直接施設をご訪問させて頂き、皆様と情報交換することで、改めて福祉活動の重要性を勉強させて頂いております。頂いた情報を社内で話し合い、より深い取組みができるように社内報等を通じて、全スタッフにも、しっかり伝えております。今後も品川区と連携し継続して社会福祉活動に微力ながら努めて参ります。ありがとうございます。



ホーチキ株式会社

- ①清掃活動
- ②エコキャップ回収によるワクチン寄付 など

- ①月2回程度、会社周辺歩道のゴミ拾い
- ②ペットボトルキャップを回収し、回収業者がリサイクル資源として売却。売却益がJVCへの寄付となりJVCがワクチンを発注（キャップ1000個でワクチン1人分）



前田道路株式会社

献血活動

弊社では、社会貢献活動の一環として、東京都赤十字血液センターにご協力をいただき、本店ビル前にて前年と同様2020年7月に献血活動を実施しました。当社の社員だけではなく近隣の方々を含めご協力をいただきました。今後も継続的に実施し、地域社会に貢献して参ります。



美鈴工業株式会社

清掃活動

キャリア教育の一環として、「しながわ寺子屋」「しながわ職場あるき」、東商「リレーションプログラム」に参画し、出前授業、Web授業、企業訪問の受け入れを行っています。学生の方々に、商社の仕事、ものづくりのプロセスの学習を通して、様々な職業による社会へのお役立ちの姿や職業観・仕事観の醸成をご支援しています。



みずほ銀行 品川支店

特殊詐欺被害の未然防止

従来より品川警察署と緊密に連携し、特殊詐欺被害の未然防止に取り組んでいます。訓練等により防犯意識を高め、地域の皆様へ安心・安全な金融サービスが提供出来るよう努めております。



三菱鉛筆株式会社

Pen to Pen 水平リサイクル活動～ペンは捨てずに回収ボックスへ

当社は東大井に本社を置く筆記具メーカーです。2022年より品川区内の官・学・産の皆様と共に使用済みのペンを再びペンにする「水平リサイクル活動」に取り組んでいます。水平リサイクルの擬人化キャラクター「ミズヒラリサ」をリーダーとして学校等でのギブバック講座や、公共・商業施設等での再生ペンの体験イベント等も実施しています。エコルとごし様の館内にペンの回収ボックスを設置していますので、ぜひご利用ください。



三菱総研DCS株式会社

小中学校で「ロボットプログラミング入門」授業を開催

2021年より、小中学校におけるキャリア教育・プログラミング教育への貢献を目的とした「ロボットプログラミング入門」授業を実施しています。授業内容は、ロボットエンジニアの職業紹介やコミュニケーションロボットでのプログラミング体験などです。

これまで、延べ100校以上、5,000名を超える児童・生徒の皆さんにご参加いただきました。

※AldebaranのNAOを活用し、当社が独自に実施しています

※「NAO」はAldebaranの登録商標です



© Aldebaran

三菱電機システムサービス株式会社 首都圏第3支社

Walk in Her Shoes キャンペーン参加

当社は創立60周年記念事業の一環として2022年から「歩く国際協力 Walk in Her Shoes」に参加しています。キャンペーンを通して、途上国の「水問題」や「女性の貧困」の社会課題を多くの方に広め、行動し、社会課題解決に参加者として取り組んでいます。



明治安田生命保険相互会社 品川支社

「ひとに健康を、まちに元気を」お届けする活動

明治安田生命品川支社では、品川区ならびに品川区社会福祉協議会へ「私の地元応援募金（従業員募金と会社拠出のマッチング寄付）」寄贈を実施しており、今年度もしあわせ食卓事業等への支援にご活用いただきました。また「秋のお店めぐり」と称した販売会を実施し、福祉ショップテルベさまにもご出展いただいたことで障がい者支援の一翼を担うことができました。今後も高齢者や子どもの見守り活動など、継続的に取り組んでまいります。



株式会社明電舎

明電舎ものづくり教室

当社では、2007年からNPO法人コアネットとともに小学6年生を対象としたものづくり教室を開催しています。従業員とコアネットのメンバーがインストラクターとなり、モータで動くロボット・キットの組立をサポートします。品川区では例年4～5校で開催しており、全国でこれまで1万人を超える子ども達にもものづくりの楽しさを体験していただいています。新型コロナウイルスの影響で数年開催が見送られましたが、2023年度より再開いたしました。



株式会社モスフードサービス

しながわ子ども食堂への支援を継続

全国のモスバーガー店舗では地域に根差した活動を実践しています。品川区にある本社として、区が活動を支援している子ども食堂へ手指消毒用アルコールを提供するとともに、子ども食堂の運営者向けにグループ会社の株式会社エム・エイチ・エスによる衛生講習会の開催などを支援しています。また、エコキャップや使用済み切手の寄付など、今後も継続的に地域のお役に立てるような活動に取り組んでいきます。



株式会社ルネサンス

事業活動を通じて、全ての人々の生きがい創造に貢献します

ルネサンスは創業以来、「生きがい創造企業」を理念に、様々な事業を通して「地域を健康に！」することを目指しています。

急速に進行する少子高齢社会において、「健康寿命の延伸」に寄与すべく、品川区内においても高齢者の認知機能低下予防のプログラム提供や、健康大学しながわなど地域の健康づくりを展開しております。

また、身近なところでできる活動として、地域の清掃など地域密着の活動も行い、幅広い社会貢献を目指しております。



レンフロ・ジャパン株式会社

くつしたデザイナーたいけん

品川区の小学校に通う1～3年生を対象に「くつしたデザイナーたいけん」を経験してもらおうと2回のワークショップを開催。1回目は色画用紙に自由に絵を描く体験をしてもらい、2回目は描いた画が靴下になってそれぞれにお渡しする贈呈式を開催。親子で参加でき、とても好評のワークショップとなった。



株式会社ローソン

品川区「しあわせ食卓事業」にご協力いたしました。

品川区の「しあわせ食卓事業」として、2023年8月7日(月)・8日(火)に、レトルト食品・カップ麺などの食料品やスポンジ・マスクなどの日用品約16,700個と、品川区から提供されたアルファ化米の荷受け・ピッキング・梱包・荷出し作業を行いました。品川区に所在する青稜中学校・高等学校のSDGs部の皆さんにも協力いただき、同校の教室をお借りして実施しました。梱包した商品は、「しあわせ食卓事業」に申し込みされた品川区内の505世帯に順次お届けしています。



ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

品川区社会福祉協議会への使用済み切手寄付

全国約40拠点の広域ネットワークを構える弊社では、郵便物を用いたやり取りが頻繁に発生します。弊社では、この際に生じる使用済み切手を品川区社会福祉協議会に寄付しました。使用済み切手の売却金は地域で必要とされる方への敬老杖の購入等に役立てられます。テレワークやペーパーレスの推進等により、切手の使用は減少傾向にあります。地域社会へ貢献活動のひとつとして、引き続き取り組んでまいります。



しながわCSR推進協議会 活動レポート2023

令和5年度のしながわCSR推進協議会の活動内容について、ご紹介します。

● 総会を開催

令和5年7月31日(月)に令和5年度しながわCSR推進協議会の総会を開催しました。

令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルスの影響により、総会を書面開催としておりましたが、4年ぶりに会場で開催しました。

開会にあたり、協議会会長(品川区長)が、「いつもさまざまな社会貢献活動で品川区の活性化や発展にご尽力いただきありがとうございます。区政や社会全体を取り巻く新たな課題にも、持続的に対応していく必要があると思いますので、引き続きご協力お願いします。」とあいさつしました。

令和4年度の総会以降に新規入会した企業の紹介や令和4年度の協議会活動報告、令和5年度の協議会活動予定について報告しました。また、会員企業が取り組んでいるCSR活動の紹介として、株式会社サンリオ、タニコー株式会社が合同で、続いてソニーグループ株式会社が発表しました。



● 幹事会をオンライン開催

平成29年10月、協議会会員企業の様々な社会貢献活動の要望に応えるとともに、協議会活動の活性化を図り企業の協議会運営への参加を推進することを目的として、幹事会が設置されました。会員企業のうち11社(令和6年3月1日現在)が幹事企業になっています。

令和5年5月29日(月)、令和5年度第1回幹事会をオンラインで開催し、しながわCSR推進協議会の事業である「CSR講演会」や「課題別分科会」、「合同活動」について検討を行い、それぞれのテーマや実施の方向性などを確認しました。

令和6年3月18日(月)、令和5年度第2回幹事会をオンラインで開催し、令和5年度の活動実績報告のほか、令和6年度の活動予定の方向性や協議会活動に関する意見交換を行いました。

幹事会
オンライン開催の様子



< 幹事企業一覧 > (50音順)

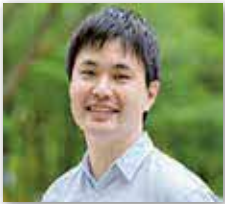
池田印刷株式会社、SMK株式会社、ソニーグループ株式会社、東京サラヤ株式会社、株式会社トリドールホールディングス、日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社、株式会社フォーカスシステムズ、株式会社文化堂、株式会社モスフードサービス、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社



CSR講演会と活動事例発表会を開催

令和6年2月7日(水)、きゅりあん小ホールにて、CSR講演会と活動事例発表会を開催しました。

○第一部 CSR講演会



テーマ

SDGs・ゼロカーボン時代に求められる次世代人材育成
～企業リソースを活かした環境教育～

講師

飯田 貴也 氏 (NPO 法人新宿環境活動ネット代表理事)

SDGs 達成やゼロカーボンシティ実現に向けて、次世代人材育成や教育の重要性が叫ばれ、企業の参画が期待されています。企業がそれぞれのリソース(専門知識・技術等)を活かしながらどのように環境教育へ参画していくか、事例紹介などを交えながら、ご講演をいただきました。

(以下、講演内容抜粋)

2015年9月の国連サミットで採択された2030アジェンダで、2030年までにグローバルに解決を目指す17のゴールが「SDGs」と言われています。日本語訳としては、「持続可能な開発目標」ですが、私としては、サブタイトルの「TRANSFORMING OUR WORLD」、この言葉がすごく重要であると考えています。外務省はこの言葉を「我々の世界を変革する」というふうに日本語訳しています。つまり、我々の世界を「変革」する目標がSDGsということになります。

日本人には、「変革」よりも、「改善」とか「改良」のほうがなじみ深いと思います。日本は、「改善」とか「改良」は、グローバルにも評価されている得意分野なんですよ。それでは、「改善」と「変革」は何が違うんだろうということ、例えば車で考えたときに、燃費の向上など、ガソリン車というフレームの中でよりよくブラッシュアップしていくのが「改善」で、そもそもガソリン車をやめて電気自動車にしましよとか、1人1台ではなくカーシェアにしましよとか、そもそもガソリン車という存在を見つめ直すのが「変革」です。

そうすると、SDGsというのは、今の積み重ねの中で、ちょっとした意識とか改善で収まるようなゴールではなくて、そもそも今のライフスタイルを見直すとか、価値観を見直すとか、そのぐらいのインパクトが必要ですよというメッセージも込めて、外務省は日本語訳で「変革」という強い言葉を使ったのかなというふうに私は捉えています。

ちなみに、そんな危機感のもと、日本はSDGsに向けてどうなのかということなんですが、毎年国際財団が、各国のSDGsの通信簿をつけており、公表されています。昨年度、17ゴールのうち、日本が赤点を取ったゴールが5つあります。5番の「ジェンダー」、12番の「つくる責任つかう責任」、13番の「気候変動」、14番の「海の豊かさ」、15番の「陸の豊かさ」です。これら5つのゴールが日本の課題であると国際的にも捉えられていて、今後7年で大きな改善が求められています。

次に、ゼロカーボンについてですが、つまりは「二酸化炭素をゼロにする」ということで間違いはないのですが、本当に排出量をゼロにしてしまうと、産業も動かせなくなってしまいます。一般的なゼロカーボンの考え方としては、例えば2050年ゼロカーボンといったときには、排出したのと同じぐらい植物等を植え、二酸化炭素を削減するような活動をして、プラスマイナスゼロにするみたいな考え方が、日本国内、あるいは各自治体等で使われている脱炭素、ゼロカーボンの一般的な考え方となっています。実際、ここ品川区でも、「ゼロカーボンシティしながわ宣言」を昨年6月にしまして、2050年までにCO₂排出量をゼロにするということを自治体としても表明しています。また、そのための拠点として、2022年の5月には「エコルとごし」という施設ができて、まさに市民と事業者と行政が協働するようなプラットフォームが出来つつあるのかなというふうに感じているところです。

ここまで、SDGsとか、ゼロカーボン時代って何なのかというのをお話してきましたが、いずれにせよ、このままのライフスタイルとか価値観ではまずいよねというのが、社会的あるいは科学的なエビデンスとして認められつつあって、このままだと持続不可能な状況だというのが社会的なコンセンサスを得つつある、そんな状況の中で、社会を変えるための目標として、2030年SDGs、あるいは2050年ゼロカーボンという期限を区切った具体的な目標ができていくというふうに捉えています。

SDGsとゼロカーボンの2つに共通する、今までの環境問題とは大きく異なる考え方があります。それは「フォーキャスト」と「バックキャスト」の考え方です。フォーキャストとは、現状や過去のデータから、現在を起点に未来を予測するという手法です。一方で、バックキャストとは、目標とする未来を決めてしまっ、そこから未来を起点にして逆算して、今何をすべきかというのを考えるという手法です。

今までの環境問題とは、例えば地元の川が汚くなってしまっているので、それをよくするためにはどうしたらいいかなど、フォーカスティングが多かったのですが、それに対して、ゼロカーボンやSDGsの考え方はバックキャストです。2030年にこのゴールを達成するんだ、世界を変えるんだというのがSDGsであり、2050年にCO₂をゼロにするんだと決めているのがゼロカーボンです。

今の社会的な潮流としては、バックキャストの考え方が主流になってきています。自治体も基本計画等をもとに各事業を進めていますし、企業の皆さんも2050年までにどういうふうに取り組んでいくのかというのをまさにバックキャストして、自社でできることを考えていく、そんなフェーズにきています。

それに合わせて、教育のほうでも大きくトレンドが変化しており、「正解を求める教育」から「納得解を求める教育」に変わってきています。これまでは、正解に向けていかに効率的に最短で学ぶか、その知識、スキルを身につけるかということが求められていました。しかし、SDGs、ゼロカーボンのような目標はあるけれども、それに向けた正解、ソリューションは分からないという時代においては、その問いをつくるとか、関係者の人と話し合って正解を導いていくとか、それぞれ正解が違うわけです。正解ではなく、様々なステークホルダーと一緒に、納得解を導いていくみたいなのが、教育業界でもトレンドとして求められています。

つまり、SDGs・ゼロカーボン時代、言い換えると、不確実性の高い時代になってきていて、それに伴って、教育も学校だけにとどまらず、地域のステークホルダー、企業や自治体、市民の皆さんと一緒に、子供たちも含めてステークホルダーの一員として、ともに未来をつくっていくことが求められています。それぞれ皆さんの会社にも、自分たちの会社だからこそできることがあると思うので、ぜひその強みを生かして、教育分野、あるいは次世代人材育成の分野に貢献していただくとありがたいなと思っております。

SDGsの達成やゼロカーボンシティの実現に向けては、事業者の皆様の期待やニーズ、役割が大変大きな要素となります。共に未来に向けた一歩を踏み出していけたらと思っております。



○第二部 活動事例発表会

活動事例発表会では、会員企業の①ネットワンシステムズ株式会社様、②東京サラヤ株式会社様より事例発表をいただきました。さらに、今年度は③清泉女子大学の環境学生団体 Econista (エコニスタ) 様からも、企業や商店街と連携して取り組まれた資源循環プロジェクトにつきまして、ご発表いただきました。

(以下、講演内容抜粋)

①ネットワンシステムズ株式会社

当社は去年の5月に新たに大井競馬場前にイノベーションセンター「ネットワンバレー」という拠点施設を設けました。この施設の7階に非常に大きな壁がございまして、今回ご紹介する事例は、この壁に、地元の小学生にウォールアートを描いてもらうというイベントについてであります。

このイベントの目的として、ネットワンバレーを活用して子供の感性や可能性を引き出すことと、我が社が新たに拠点を設けたこの勝島の地で、少しずつ地域の皆さんとの交流を図っていきたいということで実施いたしました。実施にあたりましては、まず去年7月に品川区総務課にご相談させていただき、その後、いろいろな関係者・関係団体との調整を経て、昨年12月22日に晴れて実現いたしました。

当日は、地元の浜川小学校の4年生、合計93名の児童さんにお越しいただきまして、自分たちの将来の夢を壁に描いていただきました。参加された皆様からは、「ウォールアートが夢に溢れていた」、「自分の夢を絵として表現できて楽しかった」、「プロ野球選手になりたいが、もしなれなかったら、ネットワンシステムズで絶対働きます」といった、非常に嬉しくなるようなコメントをいただきまして、つくづく小学生とは純粋で、こちらにも夢を与えてくれるなということを感じた次第です。

当社の掲げているパーパスは、「人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る」です。まさしくこのしながわCSR協議会もそうですけれども、やっぱり人とのつながりですね。私どもはネットワークの会社なのですが、ネットワークというのは、従来の技術的なネットワークもそうですけれども、一方ではヒューマンネットワークも意味しているというふうに理解しています。つまり、人とのつながりで、この先、またこのCSRの活動が広がっていけばいいなというふうに考えております。

